

3月度理事会議事録（2021年3月9日（火）開催）

1. 会長報告（2月9日（火）～3月8日（月）出席案件）

- ・2月16日（火）泰日協会理事会 於：インターコンチネンタルホテル
- ・2月19日（金）文化部同好会・タイを知る会年次総会 於：日本人会本館

2. 退任理事挨拶

- ・藤田理事（Mitsui & Co., (Thailand) Ltd.）
- ・田中理事（Itochu (Thailand) Ltd.）

——）帰任のため退任、ご挨拶を頂いた。

3. 一般報告

（1）2月度個人会員動向

入会者 73名 退会 99名 現会員数 5,749名（内、準会員 56名 会友会員 216名）  
（前年同月 6,691名・前年同月比 85.9%）

（2）2月度賛助会員

〈入会 2社〉

- ・Enoteca (Thailand) Co.,Ltd.（ワイン販売）
- ・ZIP AIR Tokyo Inc.（航空輸送業・日本企業）

〈退会 7社〉

- ・Data & Communique Express Co.,Ltd.
- ・Nanohana Co.,Ltd.
- ・Mitsumoto Coffee (Thailand) Co.,Ltd.
- ・Yamazakura Co.,Ltd.
- ・F&T.W.Y. Co.,Ltd. (DAINOKI, ICHI)
- ・Teppen (Thailand) Co.,Ltd.
- ・SHAKARIKI 432 Co.,Ltd.

現会員数 562社

（前年同月 587社・前年同月比 95.7%）

（3）2月度会館来訪者数

本館：354名（実数 176名）

別館：2,179名（実数 604名）

合計：2,533名（実数 780名）

（前年同月 2,496名（実数 1,064名）前年同月比 101.4%（73.3%））

・2月より計上方法を変更した。実数については、会員実数 延べ利用者数については、会員同伴のお子様の人数もカウントするようにした。

（4）会員優待店

【新規加盟】

- ・Wex Dry cleaning & premium laundry HIS アソーク店（クリーニング）
- ・Wex Dry cleaning & premium laundry BTS プロンポン店（クリーニング）
- ・Wex Dry cleaning & premium laundry MRT クイーンシリキット店（クリーニング）

3店舗加盟、退会 0店舗 現在 202店舗

(5) 2 月度会計報告

- ・ 2 月度収入は、57 万バーツ、(前年同月 179 万バーツ 前年同月比 32.0%)
- ・ 2 月度支出は、186 万バーツ、(前年同月 201 万バーツ 前年同月比 93.0%)
- ・ 単月収支は、-129 万バーツ (前年同月 -21 万バーツ 差額 -107 万バーツ)
- ・ 累計収支は、34 万バーツ (前年同月 -18 万バーツ 差額 53 万バーツ)

(6) 法人会館利用

- ・ 2 月～4 月の法人予約を紹介した。3 月に株主総会でのご利用で予約を頂いている。

(7) 寄付・寄贈報告

・ 現金の寄贈

タイ味の素ミセス会様より、5,548 バーツ チャリティー基金にご寄付頂いた。  
タイ矢崎奥様会様より、1,112.50 バーツ チャリティー基金にご寄付頂いた。  
加古川成子様より、5,000 バーツ 納骨堂カンチャナブリ基金にご寄付頂いた。

・ 本の寄贈

小谷久子様・窪田直也様他、6 名より 391 冊寄贈頂いた。

(8) その他報告 (事務局)

- ・ 3 月の主な会議日程と各同好会など主な行事日程を確認した。

4. 2021 年度定期総会開催に関して (事務局)

・ 4 月 22 日 (木) 17 時より定期総会を Glowfish Studio (日本人会サートン本館上階) にて開催予定である。今年度も昨年同様オンラインでの開催を基本とするが、会場参加を希望の方には、定員を設定したうえで対応することとした。尚、オンラインでの開催については、管轄のバンラック行政府にも確認済みである。

・ 3 月 10 日発送の「日本人会からのお知らせ」に委任状を同封している。オンラインでも委任状が提出できるようにしているので、各社の協力をお願いしたい。

・ 決議事項としては、日本人会規約の変更 (会友会員条件変更・ファミリー会員制度の導入) を予定している。

5. タイ国日本人会後援名義・ロゴ使用申請 (事務局)

(1) 対象事業名: 「日本の贈り物」展

・ 開催日: 2021 年 3 月 18 日 (木) ～4 月 25 日 (日) 於: TCDC バンコク  
2021 年 5 月 5 日 (水) ～6 月 30 日 (水) 於: TCDC コンケン

・ 主催: 国際交流基金バンコク日本文化センター

・ 要請事項: 日本人会後援名義・ロゴ使用・会員への告知  
——> 異議なく、承認された。

6. 2020 年度チャリティー基金運営委員会・審議案件 (堀尾理事)

・ 2020 年 11 月 16 日 (月) ～2021 年 1 月 15 日 (金) まで寄付先公募し告知をした結果、14 団体から申請があった。2 月 8 日 (月) 第一回チャリティー基金運営委員会に続き 2 月 17 日 (水) に第二回目の運営委員会を開催した。寄付先の選定については、前回の理事会でも説明したとおり、コロナ禍で厳しい状況ではあるが、個々の事業内容の妥当性を審査し必要性を確認すること、組織の存続に関わる案件、人的支援は継続し、物的支援は翌年への繰越とした。緊急度・支援内容の規模・重要度・継続性・日本人会依存度を指標に検討、決定したので、報告並びに審議頂きたい。

・チャリティー基金運営委員会規定

第8項 運営委員会の任務（ハ）基金支出の案件の審議と決定（2014年10月改定）

・寄付申請金額が、10万バーツ未満の案件については、委員会にて審議し、支出決定した場合、理事会にて報告する。

・寄付申請金額が、10万バーツ以上の案件については、委員会にて審議し、支出決定した場合、理事会に提案し、理事会の承認を得るものとする。

〈理事会承認案件〉

・国際保健協力市民の会（Health and Share Foundation）

128,550バーツ（AIDS孤児への奨学金・家族へのワークショップ等）

・プラティープ財団（Duan Prateep Foundation）

103,200バーツ（スラムの青少年リーダー育成活動）

・アークどこでも本読み隊（Bookworm Foundation）

104,892バーツ（常勤職員1名・1年分の給与）

・虹の学校（Rainbow school Thailand）

108,000バーツ（常勤職員1名・1年分の給与）

・Wat Arun Community Learning Center

120,000B（人身取引対象の奨学金生活支援・看護学校1年間）

——〉5件共に理事会にて承認された。

〈理事会報告案件〉

・Grace & Marcy's Partners Foundation 内「ランナー剣道クラブ」

58,000バーツ（孤児たちの剣道大会遠征支援・中根杯・タイランド剣道連盟30周年）

・ワットリアップ育英基金（日本人納骨堂のあるワットリアップ奨学金基金）

50,000バーツ

・チャンタミット社（Beular Land Service Foundation）

9,568B（ハンセン病患者遺族のためのワークショップ）

・シーカーアジア財団（Sikha Asia Foundation）

72,900B（スラム及び農村児童の研修キャンプ活動・環境整備）

7. 厚生部規定の改訂（桐生理事）

・第3条 部の役割 6)に「みんなの相談室」を追加したい。

【改定後】

厚生部の役割は次のものがある。

1)「成人の日」祝賀会開催 2)メイドさん紹介・相談サービス 3)小児育児相談

4)「すくすく会」活動（①総務、②ミーティング系、③キッズルーム、④編集会議（すくすくだより発行）など）5)「出産準備教室」活動、6)「みんなの相談室」活動（2021年2月改訂）

・2018年9月にすくすく会メンバーを中心に「みんなの相談室」が発足。2019年1月に「財団法人こころの電話」の支えのもとに活動を開始した。日本での有資格者による「対面個別相談」と交流の場を提供する「お茶会」を日本人会別館及びサミティベート病院で実施している。発足当初、厚生部傘下の活動とする案もあったが、実績がなかったため見送ったが、発足より2年経過し、2020年の相談件数4件（コロナ禍のため実施できず）、お茶会は33回実施（延べ利用者133名）し、在タイ日本人のメンタルケアの重要な活動となってきている。今回、厚生部の傘下の活動とすることで、継続的な活動ができるよう日本人会として支援してきたい。

——〉異議なく、承認された。

## 8. 2021年予算審議員会結果報告と予算審議（重松理事）

### 【2021年度予算方針】

・11月の理事会で発表している2021年度の予算方針としては、会員数については、増加の期待はもたず、現状程度とし、今期程度、200万Bの赤字幅容認することとした。そのためには、全体として、2020年度基本予算から-10%を目標に各部に予算建てとなり、支出削減が見込める領域では、大きく予算を削減したいが、一方で会員維持のため、将来の投資の部分には支出をしていくこととし、同時に新たな収入増の施策も検討して頂くよう各部には依頼をしていた。

### 【2020年度実績見込】

・2020年度実績見込みは、収入2307万パーツ（予算比81.8% 実績比87.8%）支出2365万パーツ（予算比77.3% 実績比89.4%）収支差は-58万パーツを見込んでいる。  
・2020年11月の理事会で発表した収支見込は、マイナス226万パーツ（当初予算：マイナス177万）であったが、人件費の圧縮やその他経費節減、結果として行事が実施できなかったこともあり、前回の予測より良化している。

### 【2021年度予算・予算審議会案】

・2021年度予算案は、収入2724万パーツ（前年予算比94.6% 前年実績見込比118.1%）支出は3001万パーツ（前年予算比98.1% 前年実績見込比126.9%）（いずれも、ラムウォン盆踊り・及びコロナ対策政府補助金事業分を除く）

・収入予算では、個人会費収入は2020年度に対して10%回復した5800名をベースにしており、賛助会員数（企業会員）についても、10社程度回復する586社とした。増収策としては、ビジター制度の導入や、本館駐車場の有効利用を予算化している。

・支出予算については、人件費の抑制で費用を圧縮する一方、将来の投資としてホームページからの入会機能やクレジット決済機能の追加、15年ぶりの会員システムの更新費用を計上している。

・ラムウォン盆踊りに関しては、開催方法を検討中で、不確定要素も多いことから、収支均衡を前提として、支出・収入とも464万パーツの予算とした。

・政府のコロナ対策事業については、申請について認められるかどうかまだ未確定であるが、86万パーツの事業として申請し、その80%が補助金となることから、収入として、68.8万パーツを収入計上することとした。コロナ対策政府補助金費用については、総務部費用に含まれる職員人件費分も請求できることから、単純に収支をさし引くと、見かけ上は17.2万パーツの収益がでることになる。

・以上、ラムウォン盆踊り費用・コロナ対策事業政府補助金費用を含んだ全体予算では、収入3,188万パーツ、支出3,463万パーツ 収支マイナス274万パーツ、次期繰越金は3,359万パーツの予算となった。収入面については、見通しが難しく不確定要素が多いが、本予算案について、ご承認頂きたい。

（日高理事）コロナ対策事業政府助成金については、100%政府補助となる方向で検討していると伺っているが現状はどうであるのか。

（松前領事部長）今しがた、政府からもそのような通達がきており、100%政府補助となった。

（加藤理事）コロナ対策政府補助金の部分については、引き続き検討するとして、全体の予算案としては、承認頂くということによいか。

——> 異議なく、承認された。

## 9. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

### （1）婦人部（竹井理事）

・2月23日（火）「コロナ太りも解消！姿勢改善レッスン」をオンラインで開催した。参加者は55名であった。講師は小笠原真由美氏

・3月23日（火）ジムトンプソン博物館見学を実施予定である。当初1月に実施予定だったが新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大のため延期中であった。

(2) 運動部 (岩本理事)

・3月21日(日)・28日(日)延期中だったソフトボール大会の決勝トーナメントを陸軍グラウンドで開催予定である。予選リーグで利用していた Rachawint Bangkaew School が、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大のため政府の通達により学校施設が利用できない状態であるため、陸軍グラウンドでの開催とした。尚、予選リーグは残り1試合を3月7日(日)に開催予定であったが出場チームの都合が合わず不戦勝として終了した。

(3) 青少年部 (日高(日高洋行)理事)

・2月13日(土)サッカーサークルは、活動最終日のコーチとの交流試合を実施した。  
・2月28日(日)ブラスバンドサークルは、別館にて発表会を開催した。  
・3月7日(日)野球サークルは、シリキット球場にてシラチャ校との交流試合を実施した。

(4) 厚生部 (桐生理事)

・2月14日(日)出産準備教室では、オンライン両親学級を開催した。7組が参加した。  
・2月9日(火)すくすく会「わんぱく広場」を別館で開催した。そのほかすくすく会では、オンラインイベント活発に行っており、2月は、5回開催した。

(5) 企画推進部 (事務局代理)

・2月10日(水)タイをもっと知りたい!オンラインセミナー「タイの日常生活で役立つ知恵とコツ」を 講師:ナイヤナン・アリヤカノン氏(チュラロンコン大学准教授)にて開催した。参加者は62名だった。  
・2月24日(水)コロナ禍に負けない心身を鍛える!オンラインセミナー「コロナ禍…だから考えよう、コミュニケーションについて」を講師:浅野衣子氏(株式会社キャリア開発サポーターズ代表取締役)にて開催した。参加者は33名だった。  
・6月25日(金)~27日(日)に延期となった、「Japan Expo」盆踊り共催企画については、英語検定と重なり人員の確保が難しいこと、12月にラムウォン盆踊り大会を開催する予定であること、さらに、バンコク都の通達では300人以下で実施し、事前に区役所に計画書を提出しなければならないこと、を勘案して参加しないこととした。但し、規制が緩むような状況であれば、各部会の参加や浴衣や提灯の貸出などについては、協力していくこととした。  
・その他、今年度のオンラインセミナーの予定について発表した。

(6) 文化部 (田中(郵船)理事)

・文化部同好会「陶楽の会」が部員数の減少により廃部となった旨報告した。

(7) 大使館代表 (松前領事部長)

・令和2年の第三次補正予算で、新型コロナウイルス感染症拡大により厳しい生活を送っている海外の在留邦人・日系人を支援するため91億円が計上された。会長・事務局長とも支援内容についてこれまでいろいろと話してきたが、有効に使って頂くよう申請をして頂きたい。  
・2月ごろから、タクシーに乗車したところ、運転手から料金支払時に運賃として1,000バーツ札で支払うよう、しつこく要求され、先に1,000バーツから運賃分を差し引いた額をお釣りとして渡されたことから、1,000バーツ札で支払い降車しようとする、運転手が100バーツしか受け取っていない旨申し立て、さらに追加で1,000バーツを支払わせるなどし、現金をだまし取る事件が発生しており、注意して頂きたい。  
・反政府集会で当局に18人が拘束され3人がまだ拘束されている。引き続き反政府集会が実施される可能性が高いので十分注意して頂きたい。

(8) 広報部 (富永理事)

- ・3月の各情報誌の日本人会広告を紹介した。
- ・2月のホームページアクセス状況は、訪問数 8,041 閲覧数 20,404 前年同月比、訪問数 88.6%、閲覧数 72.6%。前月比は、訪問数 80.2%、閲覧数 76.6%。タイからの訪問数は 69.8%、日本からは 20.6%。
- ・2月度 LINE は 8 回配信、登録者数は、先月より 61 名増加し、4,695 名 (有効数 3,189 名) となっている。
- ・2月度 Facebook は、44 回配信、フォロワー数は、先月より 27 名増加し、2,127 名となっている。
- ・2月度インスタグラムは、10 回投稿、登録者数は、先月より 30 名増加し、941 名となった。

(9) 事業部 (神原理事)

- ・3月22日(月)日本人納骨堂法要を実施予定であるが、今のところ、秋季法要と同様、法要終了後の座会はなしで実施することとしているが、開催の可否については、今後の状況を注視していく。また、理事会メンバーの方々にも在任中一度は参列して頂きたい。
- ・法要に先立ち3月20日(土)有志の方にて、納骨堂のお掃除をして頂けることとなっている。
- ・12月の理事会で、新堂守については発表しているが、2月18日(木)付けで、高野山真言宗・国際局・橋本真人国際局長より、タイ国留学僧(新堂守)に内堀陽(僧名:陽弘)師を推薦する旨の書状を頂いた。内堀師の日本出発は、4月1日(木)を予定しており、高野山国際局と事務局にて渡航前の手続きについて調整中である。また、今回 ASQ など特別な費用が掛かるが、高野山国際局側も負担を検討して頂いており、双方で調整することとしている。

(10) 食堂運営委員会 (石井理事)

- ・食堂売上2月は、791,270 バーツ (前年対比 66.6%) であった。タイ人顧客は 2,273 名、邦人顧客は 768 名、総顧客数 3,041 名、会員利用者延べ人数は 198 名、実数 92 名であった。

10. 2月度理事会議事録承認

——> 異議なく承認された。

11. 理事会出席者 (敬称略、順不同)

- ・島田会長、田中 (伊藤忠)、藤田、日時本、田中 (郵船) 各福会長、加藤、重松、猪股、太田、神原、桐生、岩本、日高 (丸紅)、土田、竹井、日高 (日高洋行)、富永、堀尾、福田、金子、石井各理事、朽木、大竹各監事、松前大使館代表、森田 JICA (国際協力機構) 所長、石川 JETRO (日本貿易振興機構) 代表、吉岡国際交流金代表、高橋報道代表、小田原バンコクスリウォンロータリークラブ代表、西岡タイ情報誌制作代表、事務局 (熊本・村上・松田)